



# 夏こそ、生ごみ減量に取り組もう！

夏は特に生ごみの「におい」が気になる時期です。生ごみを減らす方法にはさまざまな方法があります。今回の特集では、生ごみの減量のための工夫などについてまとめました。

環境センター 電話 (25) 8123

## すぐできる！生ごみ減量の工夫

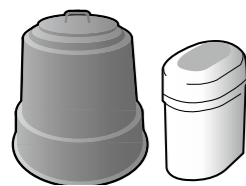
### ①ギューッとひとしぼり！水切りをしましょう！

- ・生ごみは水分が多く含まれています。
- ・ごみ袋に入れる前にギューッとひとしぼりをすると、生ごみの減量につながります。



### ②生ごみ処理機・コンポストを活用しましょう！

- ・生ごみ処理機やコンポストを活用して、生ごみを堆肥化させましょう！
- ・できた堆肥は畑やガーデニング等に使うことで、生ごみを循環させることができます。(市には生ごみ処理機・コンポストの補助金制度があります。)



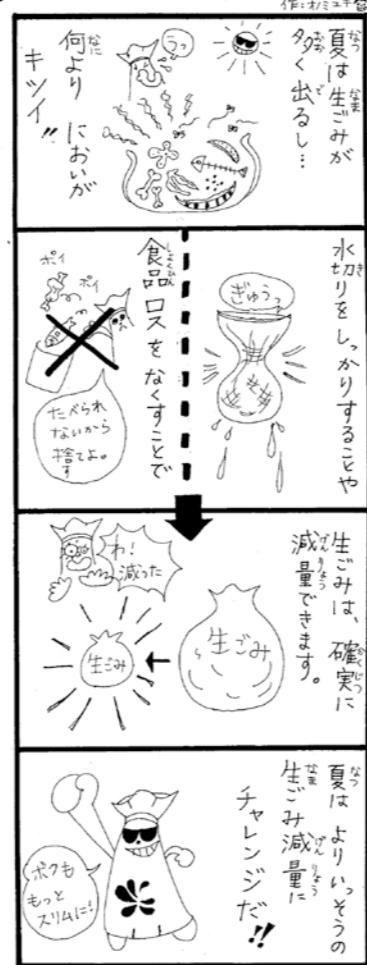
### ③食品ロスを無くしましょう！

「食品ロス」…まだ食べられるのに捨てられる食品のこと。

- ・食べ物は「残さず、作りすぎず、買いすぎず」を心がけましょう！
- ・冷蔵庫の中の残り物を使った、エコロジッククッキングに挑戦！
- ・買い物に行く前には、冷蔵庫の中身をチェック！



## 夏の生ごみ対策、不全に！



### ○7月1日は「びわ湖の日」

滋賀県が条例で定めている7月1日の「びわ湖の日」は、環境保全について考え、実際に行動に移していただくための日です。この日を中心に、県内では、外来魚駆除釣り大会や一斉清掃など琵琶湖にまつわるさまざまな活動が行われています。

詳しくはお問い合わせください。

滋賀県琵琶湖保全再生課

電話 077 (528) 3453

環境センターでは、監視強化のため毎月1回、ダイオキシン類の測定をしています。今後も引き続き監視を行い、環境センターの適正運転に努めます。

測定日	測定結果	報基準値
平成 29 年 4 月 27 日	0.16ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g
平成 29 年 5 月 10 日	0.11ng-TEQ/g	3ng-TEQ/g

高島市の燃やせるごみは、市の環境センターで焼却処理をしていますが、「流動床ガス化溶融方式」という特殊な施設であるため、安定稼働には高度な知識と技術が必要となっています。

また、建設から15年目を迎え、修繕を行うことが増加しており、経済性・安全性の観点から検討を加えた結果、現在稼働している環境センターの焼却施設を平成30年2月末をもって停止し、新処理施設の建設までのごみ処理については、民間処理業者に委託して県外で焼却処分することとなりました。(フロー図参照)

今以上にごみの減量・資源化にご協力をお願いします。

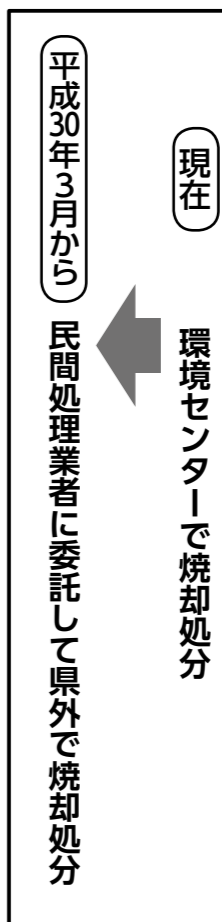
詳しくは、ごみ減量対策課または、環境センターまでお問い合わせください。

ごみ減量対策課  
電話 (25) 8123  
環境センター  
電話 (24) 0031

なお、平成30年3月からの、ごみの出し方や粗大ごみの直接搬入方法については、従来と変更ありません。

ごみ処理は、民間処理業者に委託して

県外で焼却処分



平成30年3月から変わります  
今後のごみ処理の方針を決定しました!!

